

『更生保護』をあたりまえの社会に

第76回 “社会を明るくする運動”



更生保護とき

令和8年初秋号

発行
土岐更生保護
サポートセンター
(土岐保護司会)
土岐市土岐津町土岐口2101
(土岐市役所内)
TEL 0572-54-1111
(内線672)

一日中学生保護司、イオンモール土岐で街頭啓発



“社会を明るくする運動”とはすべての国民が犯罪や非行の防止と、罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない地域社会を築くための法務省主催の全国的な運動です。

今年度第76回目を迎えた“社会を明るくする運動”。強調期間中の7月7日、土岐保護司会が委嘱した市内6中学校から12名の一日中学生保護司のみなさんが、加藤淳司土岐市長をはじめ、長谷川広和土岐市教育長、西村直樹岐阜保護観察所長とともに、イオンモール土岐において街頭啓発活動を行いました。ショッピングに訪れた市民のみなさん一人一人に、“社会を明るくする運動”にご協力をお願いします”と声をかけながら、うちわなどの啓発グッズを手渡しました。

「はじめは緊張したけど、ありがとう、と声をかけてもらえてうれしかった」と笑顔で話してくれました。



一日中学生保護司のみなさん
(敬称略)

土岐津中学校	入野 逞
西陵中学校	横溝 かなえ
濃南中学校	水野 留菜
駄知中学校	石原 七々子
肥田中学校	田中 仁愛
泉中学校	額賀 奏太
	塚本 弓絃
	長江 祐希
	安藤 萌華
	水野 兼汰
	上田 雄斗
	曾我 汐梨

更生保護って何ですか？

国とボランティアが力を合わせて、犯罪や非行からの立ち直りを支えていくのが“更生保護”という活動です。

もし、犯罪や非行をしてしまった人を排除して、彼らの居場所が地域に無くなってしまったら…再び犯罪に手を染め、もしかしたら今度はあなたやあなたの大切な人が被害者になってしまうかもしれません。

「ひとりじゃないよ」と地域社会が立ち直りを支えることで、結果として安全で安心な生活が実現することにつながります。

立ち直し支援に、特別な資格や経験は必要ありません。

地域で見守る、理解を深める、応援するなど、支援のかたちは様々です。

“更生保護”へのご理解とご協力を、よろしくお願いいたします。



犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ
法務省主催/ 第76回 社会を明るくする運動
「社会を明るくする運動」は、犯罪や非行から立ち直ろうとする人々を支え、新たな被害者も加害者も生まない安全・安心な地域社会を目指す国民運動です。
社刊しゅめい

東濃フロンティア高校3年秋山美雪さんが当広報誌へ寄稿してくださったイラストで、第76回“社会を明るくする運動”の啓発ポスターを、土岐保

護司会オリジナルで作成しました。土岐市連合自治会をはじめとする、みなさまのご協力で、市内244の全町内に掲示していただきました。

オリジナルポスター、市内全域に掲示！

薬物乱用は ダメ。ゼツタイ。



未来を守る予防啓発～中学校での出前講座から～

中学校では初開催！

薬物乱用防止講座開催

土岐保護司会が中学校で開催するのは初めてとなる薬物乱用防止出前講座を、7月15日に西陵中学校で行いました。

学校薬剤師の先生による医学的な講話と連携し、保護司の立場から、薬物乱用は決して他人事ではなく身近に潜んでいること、そして一度依存するとやがては恐ろしい犯罪へとつながるなど、本人だけでなく家族も巻き込んで抜け出せなくなる現実を伝えました。



西陵中学校2年生の薬物乱用防止講座の様子

中学生にひろがる

市販薬の罠

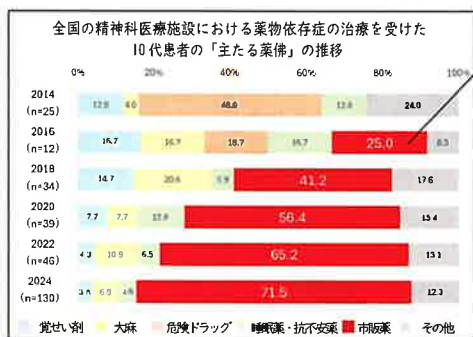
現在、深刻な問題となっているのが市販薬の過剰摂取（オーバードーズ）です。講座で提示したデータでも、10代の薬物依存治療の原因は「危険ドラッグ」

から「市販薬」へと大きく様変わりしており、中学生の55人に1人が経験している現状があります。なかでも中学生女子に多くみられ、日常の悩みや孤独感から「心の叫び」として市販薬に頼ってしまう実態が浮き彫りとなっています。

・女子に多い
・希死念慮高い

中学生の
約55人に
1人が
市販薬ODを経験

出典：飲酒・喫煙・薬物乱用についての
全国中学生意識調査（朝日新聞 2024）



出典：全国精神科医療施設における薬物依存症の治療を受けた10代患者の「主たる薬物」の推移

闇バイトの代償

少年院送致と巨額の損害賠償

手軽に入手できる市販薬ですが、依存が強まると薬代を稼ぐためにSNS上の「闇バイト」へ手を伸ばしてしまう悪循環に陥ります。特に特殊詐欺の「受け子」や「出し子」のように、犯罪の最前線に使われ逮捕された結果、被害額が非常に大きいため、中学

生であっても悪質な刑法犯として扱われ少年院送致となります。

さらに、多額の被害金に対する損害賠償責任が発生し、本人だけでなく家族の人生まで破滅に追い込まれるのです。

地域全体で

子どもたちを守るために

周囲の大人は、子どもたちの日常の些細な変化に気を配り、あたたかく見守ることが大切だと考えます。不安に感じることや、気になることがあれば、自分一人だけで抱え込まず、東濃保健所をはじめとする専門機関や土岐更生保護サポーターセンターにお気軽にお電話ください。

子どもたちの小さなSOSを地域全体で受け止め、薬物や犯罪の罠からその命と未来を守るため、土岐保護司会は学校や地域と手を携え、薬物乱用防止の啓発活動を続けていきます。

高校や、小学校6年生を対象にした薬物乱用防止講座も継続的に実施しています。今年度はこれまでに泉小学校、下石小学校、土岐紅陵高校で行いました。引き続き11月以降に駄知小学校、土岐津小学校、肥田小学校、妻木小学校、泉西小学校で実施予定です。子どもたちには、正しい知識を身に付けて、自分の心や体を大切にしたい、と繰り返し伝えていきます。

東濃フロンティア高校生と

意見交換会を開催

日頃から更生保護の啓発活動などで交流のある、東濃フロンティア高校を7月16日（木曜日）に訪問し、同校生徒会のみなさんと、『高校生の考える「社会を明るくする運動」』をテーマに意見交換会を行いました。



人間関係に迷い、学校に通えていなかった中学生の時に訪れたオープンキャンパスで、先輩たちがのびのびしていたことからこの学校への進学を決めた、わからないことはなんでも聞くことができるのがこの学校の良いところ、と先生や家族、仲間など周囲の人の支えに対する感謝の気持ちや、充実した高校生活について、自分自身の思いを、一言一言丁寧に語ってくれました。

また、大人に対しての提言として「非行や社会になじめない人がいなくなることは無いけれど、それでもみんなが生きていけることが大切」「相談したときには子ども扱いせず一人の人として対等に向き合ってほしい」など、率直な指摘があり、有意義な意見交換会となりました。

今年も開催します！

『第3回土岐更生保護まつり』

土岐市で活動する更生保護3団体（土岐保護司会、土岐地区更生保護女性会、土岐地区BBS会）の活動を紹介し、楽しく更生保護を学べるイベントを企画中！プレゼントもあります。

日時：令和8年11月22日（日）

午前9時半～

場所：セラトピア土岐

多目的ホール（泉町文化祭に出展します）



ホグちゃんも来るよ！